

中農ノ團體ニ權ニテハ産業聯合ヲ中心ニスルヲ以テシムノ平
 等ナル全農並立ニ權ニテ、擴大ナル不滿ヲ執ルサレテ得ナク
 イトテ中心地ヲ捕擧實ニモ示サレシム、當面ノ重大ナル困難ニ
 應付大、テテシムル如キ、發端者數人不悉、暴風大衆ノ闘争異議
 式面ヲハトシ、全農ノ團體ニテハ、吾々ハ、選挙準備、又
 シ、全農ニテモ、全國農民聯合會ノ間、小形選挙ノ準備、又
 ノ候補者ノ下ニ、好國ノ準備ハ全國的ニ進メ、モテキム。
 第六回大會ニテモ、正々且々選挙ニ、好國ニ共ニ進メ
 開辦ノ理由ハ夫ノ如シ、大別支那黨、客、論、辯、議
 諸ニ於テ、大中央委員會ヲ開辦セシムルニテモ、
 全農ノ第五回中央常任委員會ノ成立ニ基キ、十月十日、八日縣本

第九
 全農ノ擴大中央委員會

根拠人 朝野會大別支那
 財團法人協同會大阪支所

ガノビヨウトシテキル。シカモ、未組織貧農ヲ大衆的ニ獲得シ、
 フアシズムヲ中農カラ切斷スル充分な準備ガ、ワガ全農デ出来テ
 キルカ。益々強化サレルデアラウ彈壓ニ對シテ、安易ノ道ヲ土地
 問題ノ過小評價ニヨツテ求メル傾向ニ對シテ、ソレヲ乘リ切り、
 克服スル闘争力ガ我ガ全農ニアルカ。
 ニツトモ否デアアル。部落ニ根ヲ下ロシタ統一活動ガ今日ノヨウ
 ニ遂行サレズ、財政的ニモ、人的ニモ、今日ノヨウニ全國的結合
 ガ微弱デハ、全農ハ斷シテ前進シ得ナイデアラウ。コ、ニコソ、
 吾々ノ絶大ナ不滿ガアルノダ。
 擴大中央委員會ハ、農民運動發展ノ線ヲ、從ツテマタ全農ノ任
 務ヲハツキリト示サネバナラス。全農ノ内外活動ヲ大膽ニ自己批
 判シ、ソレニモトツイテ、新情勢ニ適應シタ主要方針、戦術ヲ決
 定シナケレバナラス。吾々ハ、擴大中央委員會ヲ吾々ノ不滿ヲ除
 去スル、全農全進ヘノ一歩ヲフミ出スソノ起點トセネバナラス。